

令和6年度第1回多職種連携研修会アンケート結果

○名称：令和6年度第1回多職種連携研修会

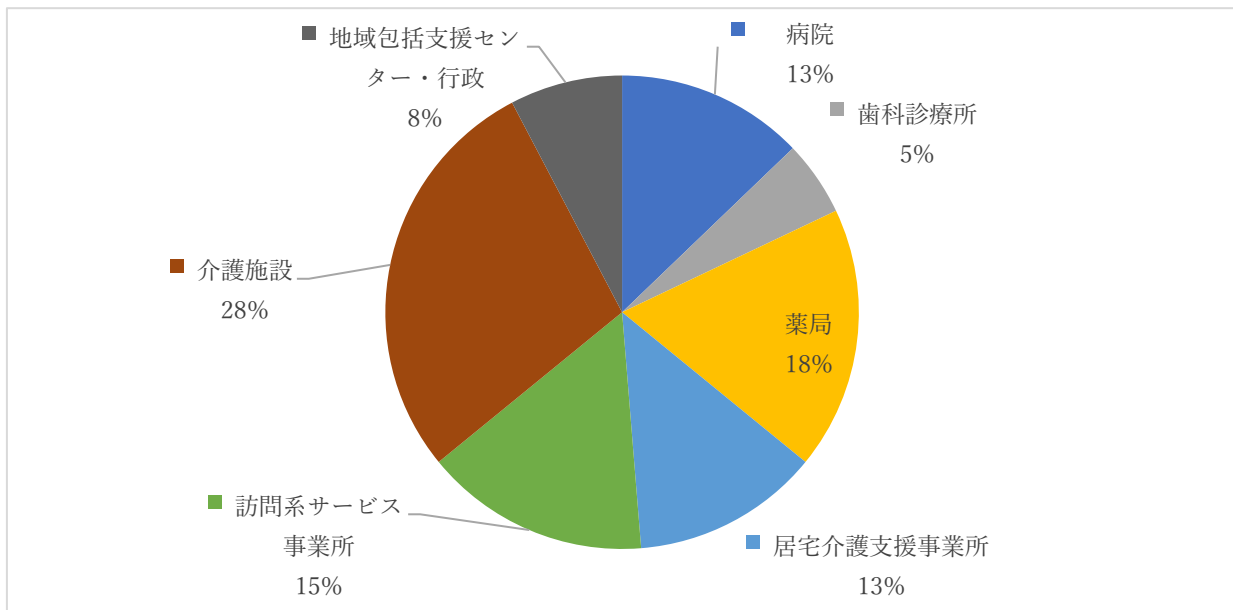
○開催日時：令和6年9月21日（土） 14:00~16:00

○開催場所：小諸市 小諸市市民交流センター「ステラホール」

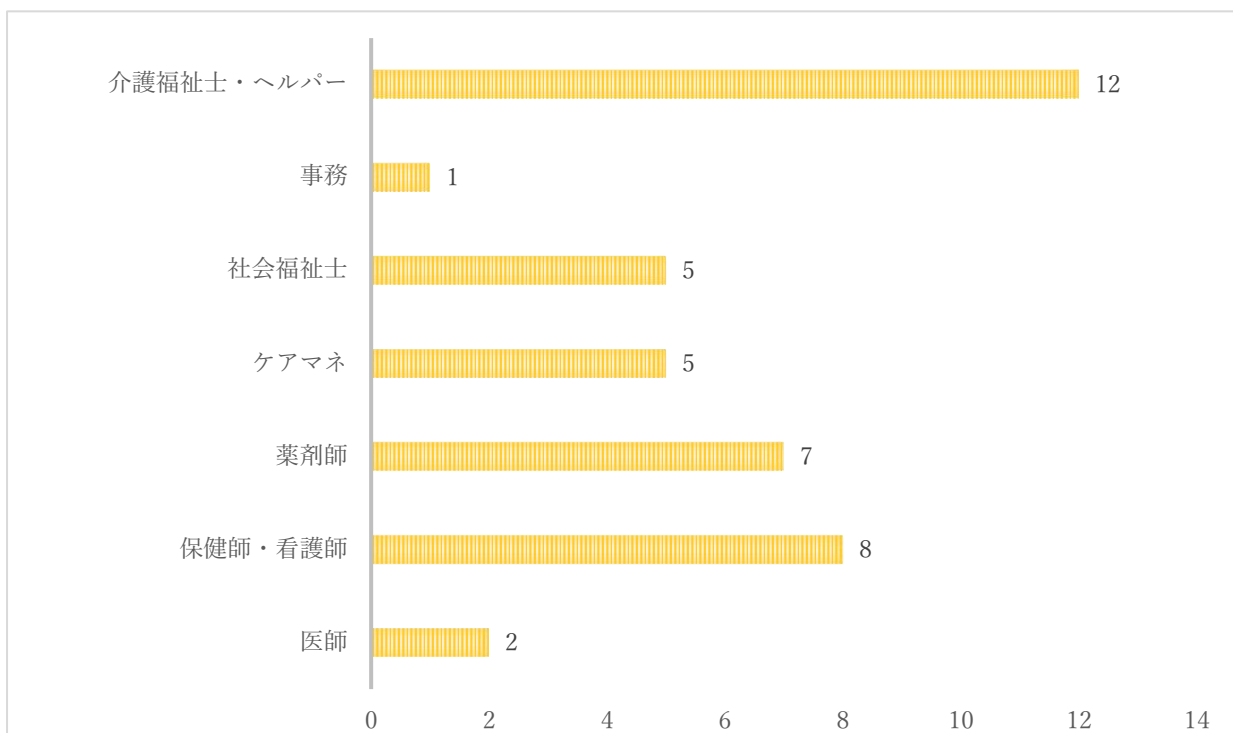
○延べ参加人数： 55名

【アンケート提出者全体の回答数分布】

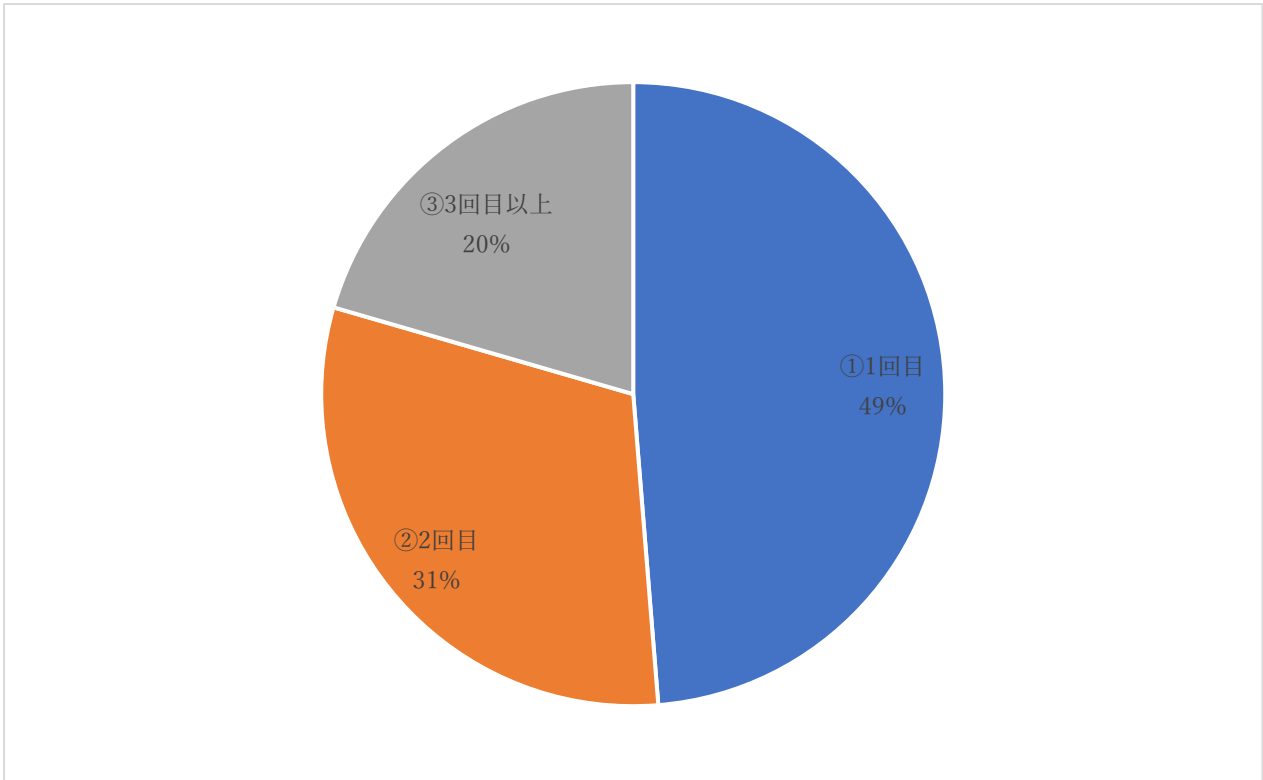
1.参加事業者



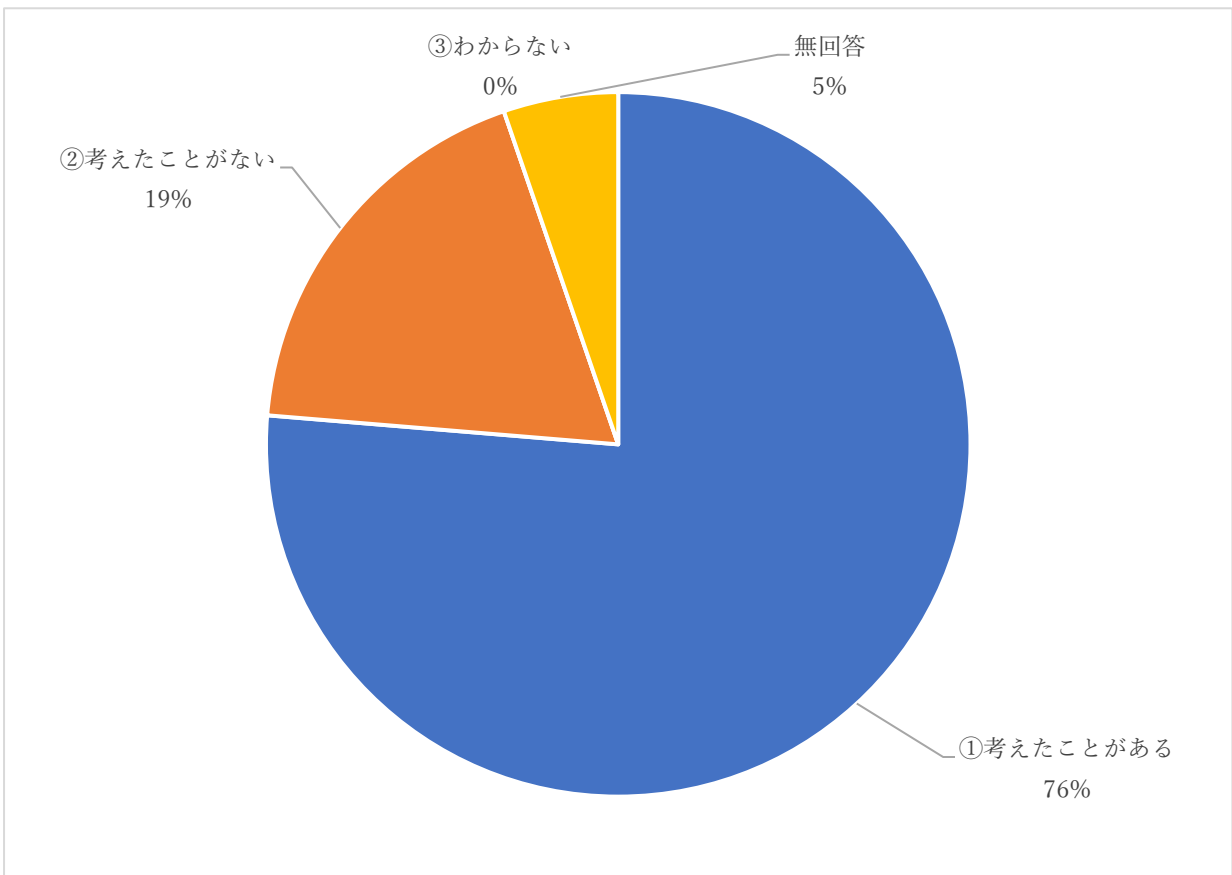
2. 職種



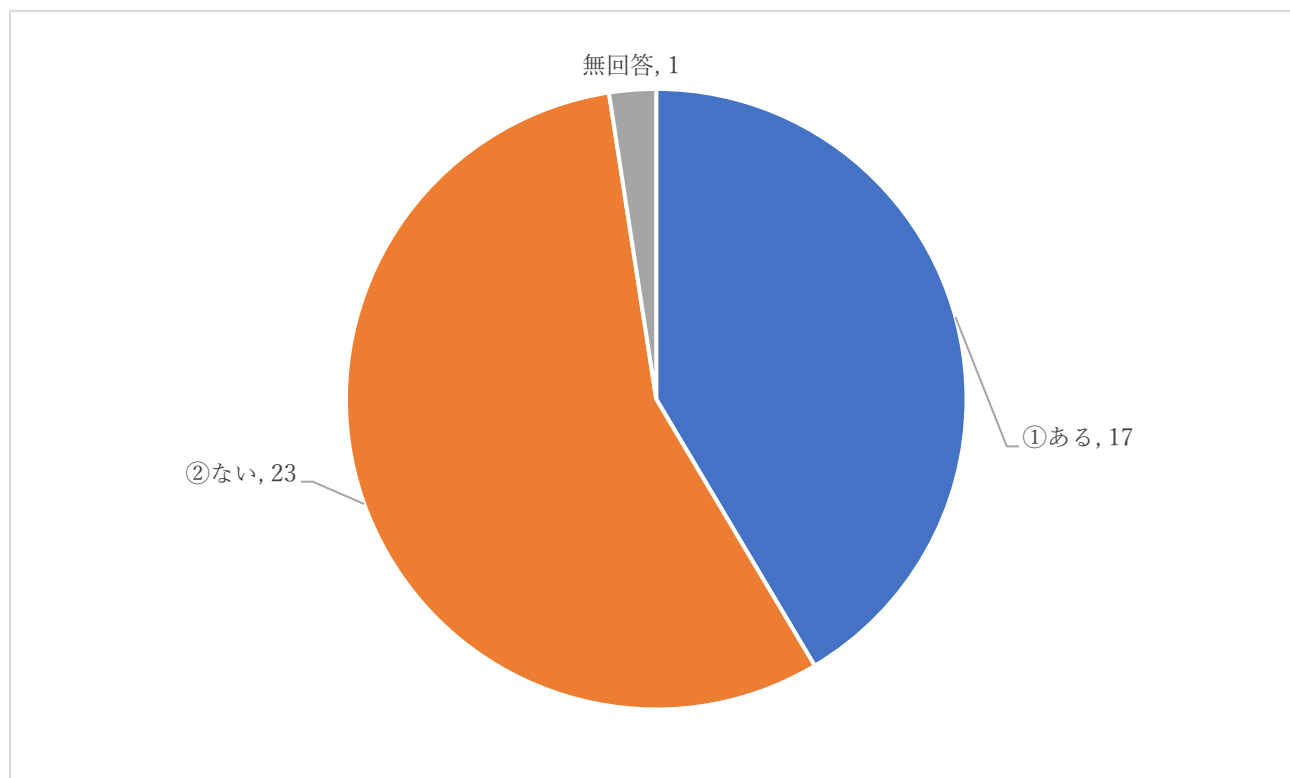
3. これまでに、意思決定支援研修会に参加したことがありますか？



4. ご自身の「将来に備えた医療や介護について考えたことはありますか？」



5. 専門職として、意思決定支援について、関わった経験がありますか？



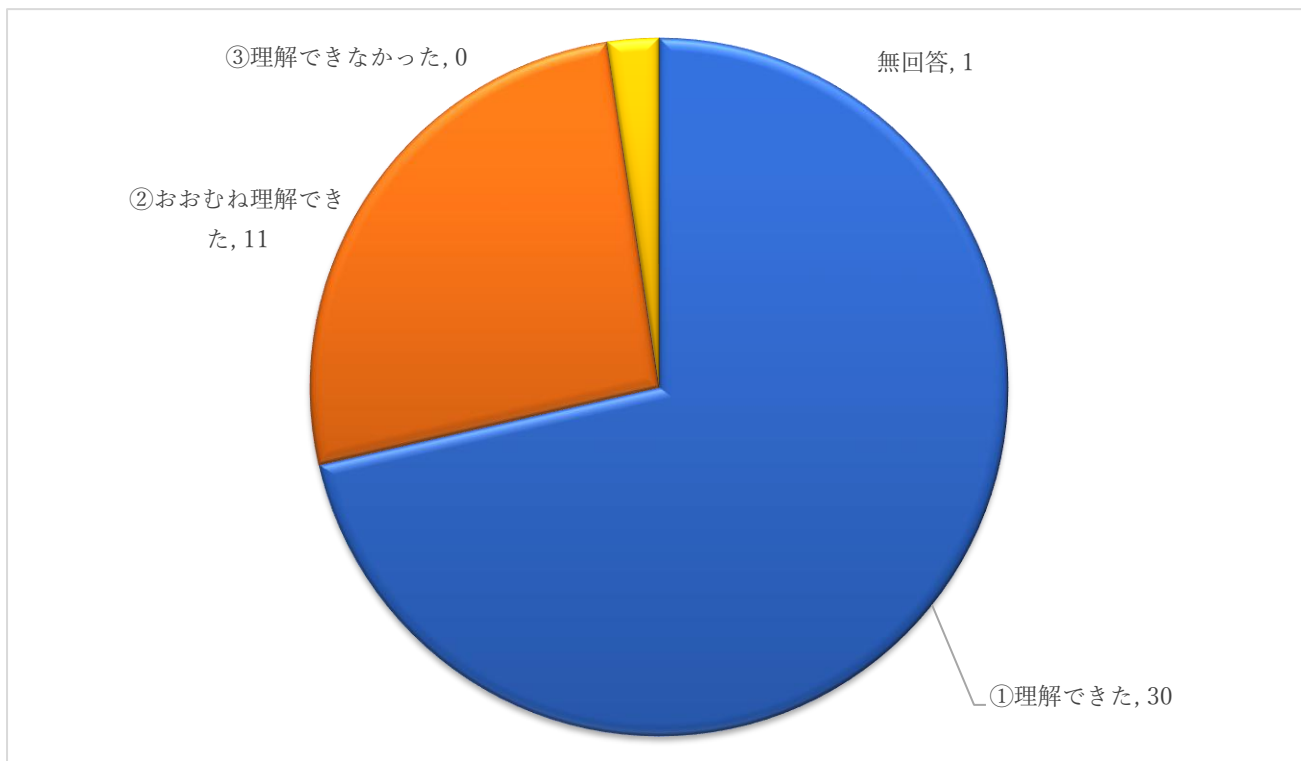
6. どのような場面で関わりましたか。

(上記設問で、「①ある」と回答した方)

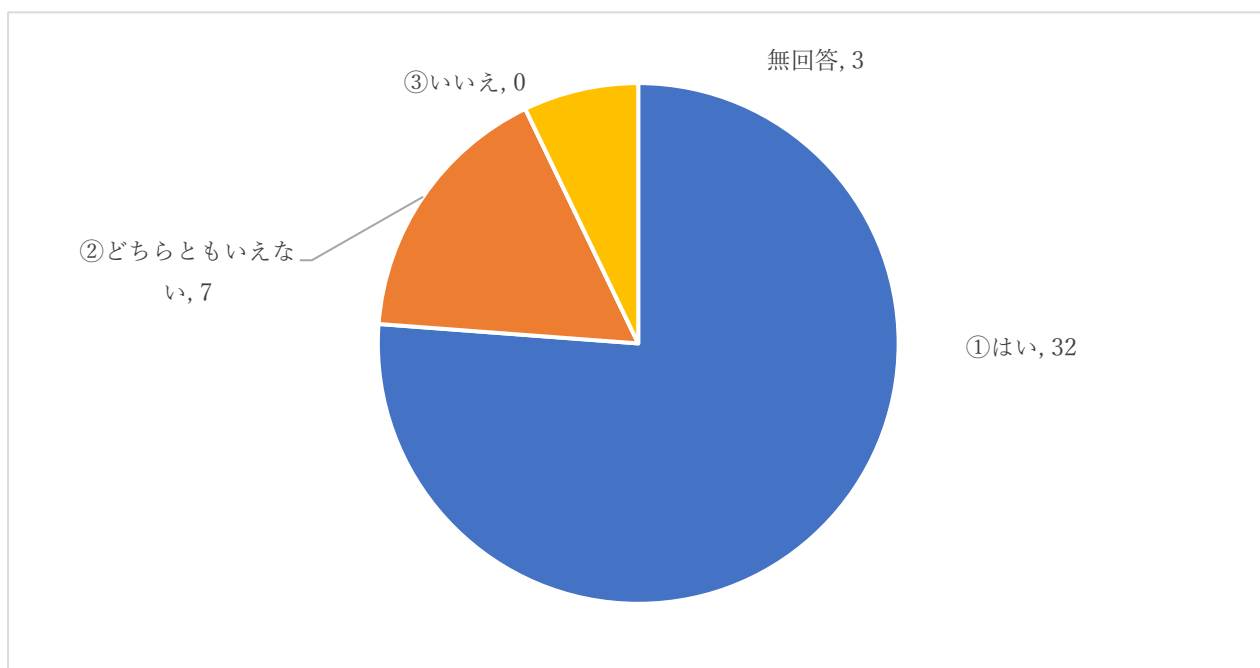
- レスパイトで入所された方が、状態悪化し、看取りになってしまったケース。本人が意思を伝えられる状況ではありませんでしたが、奥様と話をし、在宅看取りの調整を行いました。自宅に帰って数日後に亡くなり、奥様から「寂しいけど、うれしかった」と連絡を頂いた。(社会福祉士)
- 退院支援場面で、独居の為、退院したくないという方の今後の生活を一緒に考える事で不安を和らげるような関わりがありました。(社会福祉士)
- 高齢者施設だとリビングウィルとご家族の気持ちが合わない場合が多いです。中間の役割として決定を任せられる時もあります。Drもご家族はどうかと必ず聞きます。ですが、リビングウィルの認知を広めていくことが大切かと思いました。施設は、生死のはざまに居ます。ご本人との関わりとつながりがスムーズな最期に繋がっていくと思います。看取りにするかしないかがいつも迷います。(看護師)
- 看取りの際、入居時より、どのような生活を過ごしていきたいか身体状況、変化時も、その都度、ご本人、ご家族の意向を確認し、望むべき姿を共に探している。
(社会福祉士)
- 家族に施設長としての普段の様子とどうすべきか聞かれた(介護職)
- 終末期における意思決定支援(食事が食べられなくなってしまった、その際の意向確認)
- 延命治療の選択、胃瘻の選択など(社会福祉士)
- 終末期(ケアマネ)
- 施設入所の時(介護職)
- 介護サービス利用時、ケアプラン作成時(ケアマネ)
- 身寄りのない緊急ショート利用の方が夜間急変された時(介護職)

- 最期に残された日数で、どう過ごしたいか。家族としてどうしていけばいいのか（ケアマネ）
- 在宅訪問診療時（医師）
- ALSの方、近い将来呼吸器をつけるかどうか→つけない選択となりました（看護師）

7. 講演会、グループワークを通して、意思決定支援の重要性について、理解を深めることができましたか？



8. 本研修で学習した内容に対して、今後、患者、利用者の意思を尊重しつつ、最善の支援をしていくための実践的な対応策を立てる事ができそうですか？

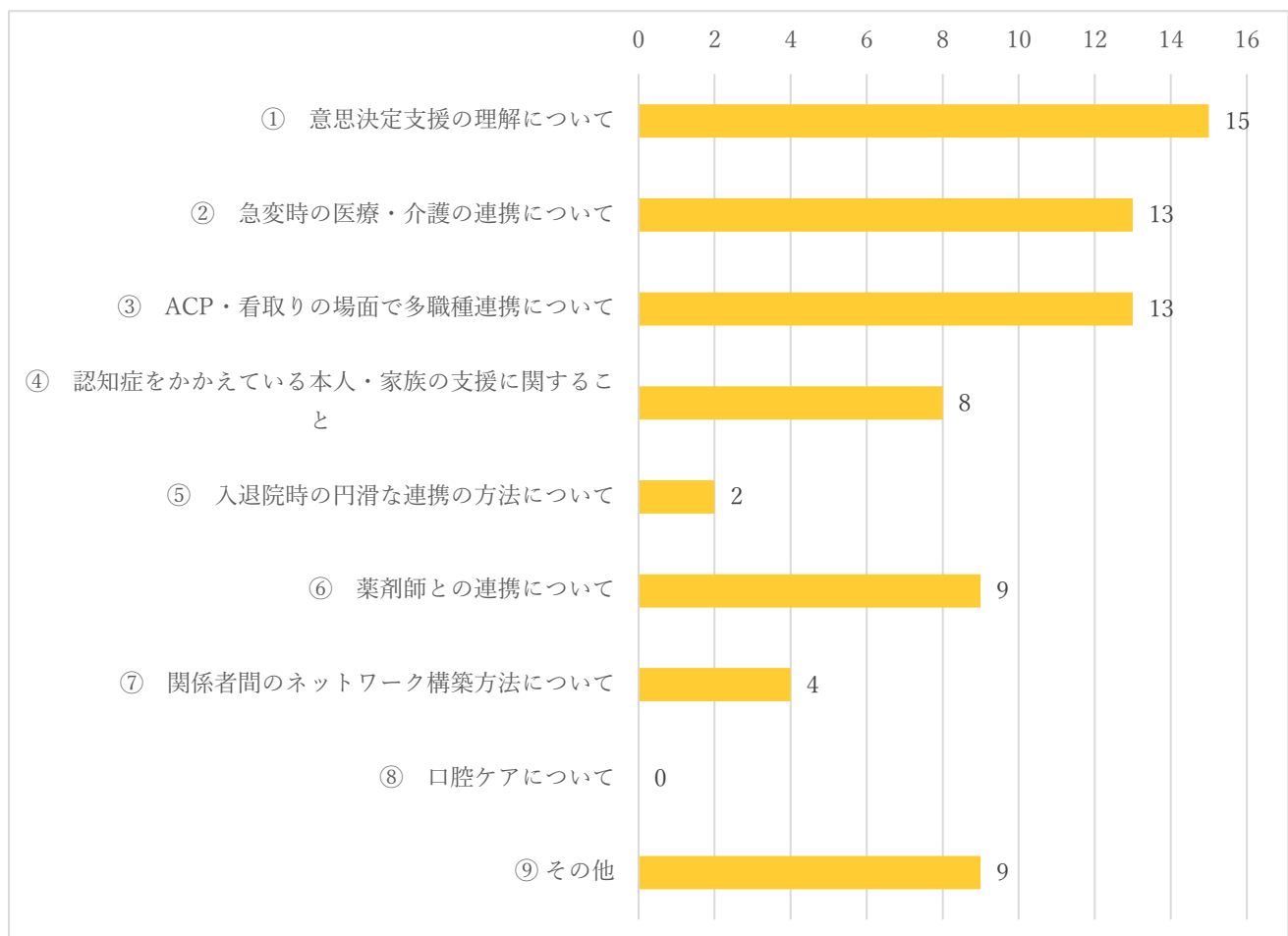


9. 本日の講演会を聞いて専門職として意思決定支援をどのように推進していけばよいと思われましたか？

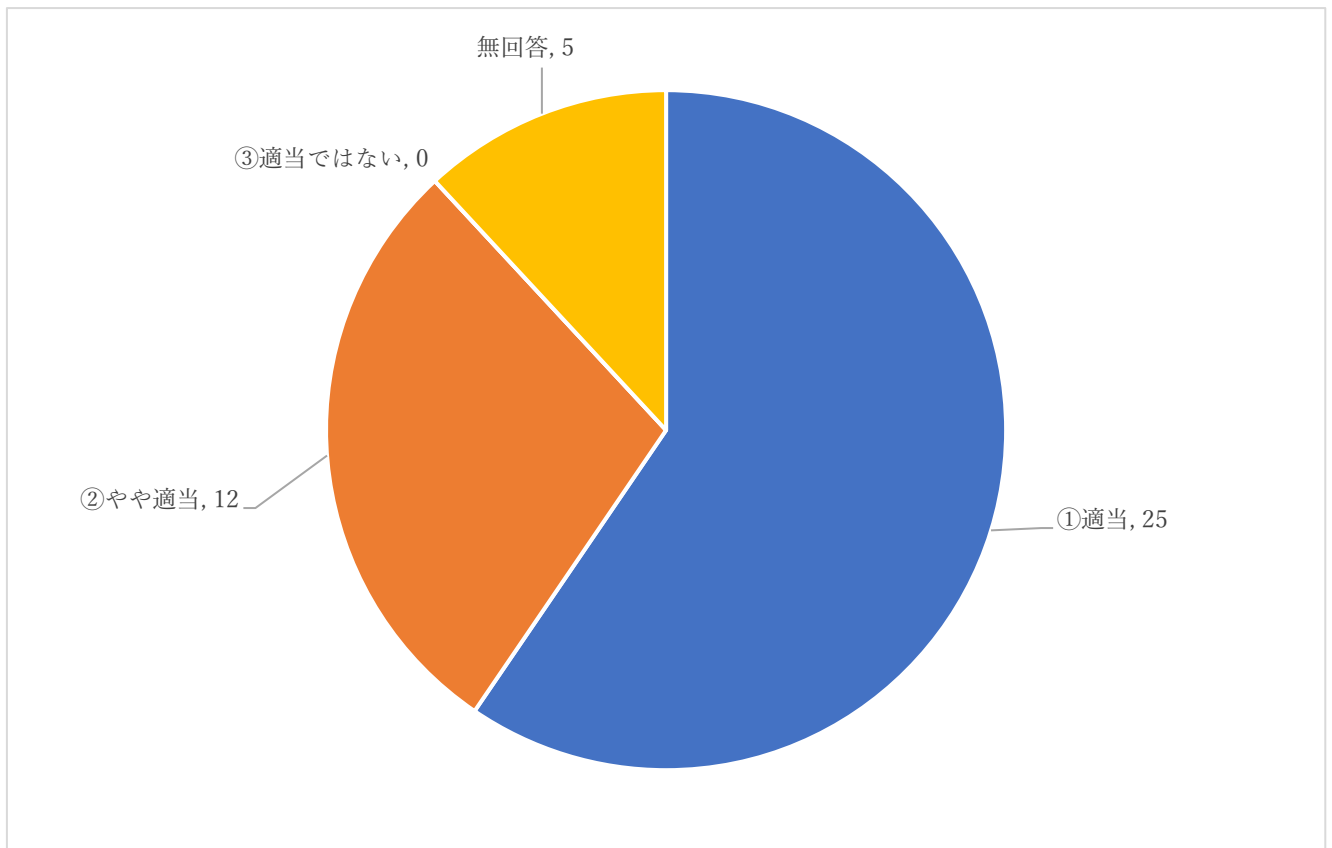
- ソーシャルワーカーとして、意思決定支援の場面に携わることも多いですが、ライフイベント後に関わることも多いので、元気なうちに意思決定につながる支援が必要だと思います。日本の「死」に関わる話題をさける印象があるので、地域に浸透していったら良いなと思いました。(社会福祉士)
- 医療・介護職員が意思決定支援について、よく知っておくことが必要なのはもちろんですが、その上で、それぞれの地域に対して、どう、認知していくかだと思います。もしバナゲーム等に絡めて広めていければと思います。(介護職)
- 元気なうちから色々考えておけるよう、広く、周知していくことが大切かと思った。(保健師)
- 入院中には、病院側としての入院期間等が決まっている中で、専門職として押し付けになってはいけなくて強く感じました。限られた時間の中でも、しっかり向き合っていきたいと思います。(社会福祉士)
- 自分勝手な意見「思い込み」でなく、あくまでも本人の人生をどう送るかを考えさせられました。(介護職)
- 頑張ります。どんな場面で、歯科衛生士がかかわれるのか、これからもっと勉強していきます(歯科衛生士)
- ご本人とのかかわりを沢山持ち、その方を知る・・・から始まります。なかなか難しい話ではありますが、自然な形で話し合える様になっていける様な努力が必要かと思いません(看護師)
- 毎年参加させていただき、施設職員に ACP についての学びが深まるような機会を作り、各専門職が同じ方向性が見えるような体制作りをしていくことが良いかと感じました。
- ご家族の意思決定の参考に話を聞かれる事が多く、意思決定に反映される方が多く少し不安になるときもあります。(半分、認知がある方だったりすると少し不安になります(介護職)
- 地域で連携していく事が必要と思われました(看護師)
- 医療に活かせるような研修だったので、実施していきたいと思う。話しやすい関係性を作っていく事が大切だと思う。患者さんと家族を繋げる役割ができればいいと思う(薬剤師)
- 家族が来局された時、入院だった場合にみんなで話し合っておくことをお勧めできるかなと思いました(薬剤師)
- 勉強会等で地域の人たちに伝えていく(保健師)
- 本人のものがたり、想い、家族の想いに寄り添い、聞き取ることができ、支えられる仕事をしたいと思われました(社会福祉士)
- 信頼関係の大切さ(介護職)
- 普段から関係性を作っておき、何かあった時も何も無い時も色々な話ができる人になるようにしていきたいです(社会福祉士)
- まずは、自分が人からこの人にだったら話したいと思われよう、日頃から意識したい。また、もしバナゲームを取り入れて、気軽にこのような話ができる土壌を作りたい(社会福祉士)
- 「ものがたり」に視点を置いた支援が必要だなと感じました(ケアマネ)

- 自分の人生について、どのように過ごしたいのか、関係性を築いたところから本人がその気持ちになった所からかと（ケアマネ）
- 元気な時から自分らしく生きていかれるよう、本音で話ができるようになればと思います（薬剤師）
- 施設では入所の時に意思決定をご本人から聞きます。ご利用者の生活を共にしていく中で、ご利用者の思い、考えを聞き取る、聞き出す、そういった役割も持ちながら支援していきたい。ご利用者のADLが低下したり、入院したりそういう場面で看護師やご家族にこういう気持ちでいらっしゃいました。こういう考えですと胸を張って言える、そういう人になりたいです（介護職）
- 家族、地域、職場の中で話をする（ケアマネ）
- 元気なうちに、本人にどう生きていきたいか聞いてあげる事から始める大切さ（介護職）
- 入所の際に、急変時の話はするが、「その人の人生」は、地域からの内容が主な時が多い（介護職）
- その人の生活に関わる立場として、普段からその人がどう生きてきたのか、どう生きていきたいのか聞いていきたいと思います（ケアマネ）
- 日頃から利用者様との会話の中からその人となりを理解しようとする姿勢が大切だと感じました（ケアマネ）
- 患者からの気持ちの引出し方法を学習（医師）

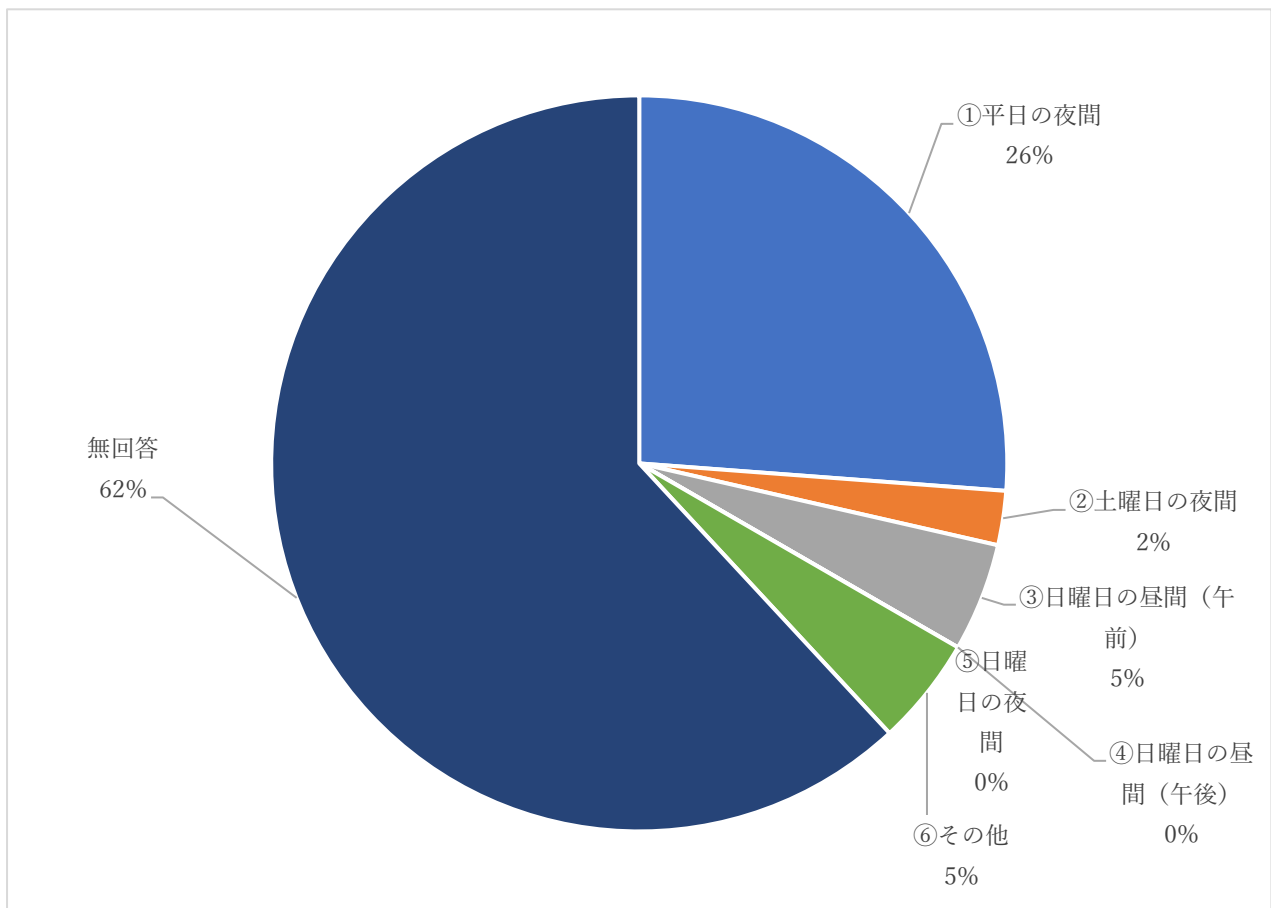
10. 今後、多職種連携研修会で学びたい内容はありますか？



11. 研修会の日時（曜日等）時間は適当でしたか？



12. どのような時間帯が参加しやすいですか？



9. 本日の研修会について感想をご記入ください。

- 内容すべてがとても興味深く、自分の仕事に活かしていきたいと思いました（社会福祉士）
- そもそも、意思決定支援について、ほとんど何も知らなかったなので、この機会に教わる事ができて本当に良かったです。まずは、自分の人生について、考えてみたいと思います。そして、職場、周辺地域に向けた取り組みへ繋げていければと思います。貴重なお話を頂きありがとうございました。（介護職）
- 内容がとてもよくわかりました（保健師）
- すごく楽しいグループディスカッションや多くの意見が聞けて良かったです（介護職）
- 初めて参加して、「ALP」について考えました。訪問口腔ケアをしています。人生の終末期のケアをすることもあります。ご家族や支援者の希望で行うのですが、口の中にも、ものがたりがあると思っていました。一生懸命、治療し歯磨きをされてきた口の中を守りたい。「気持ちがいい」としてもらえる口腔ケアを目指してきました。今日の「ALP」のお話を聞いて、もう少し深く考え、「口腔ケア」をしていきたいと思いました。自分の人生も振り返る、とてもいいお話でした。ありがとうございました。（歯科衛生士）
- 自分の事に振り返って気づくことができた（歯科衛生士）
- 訪問した時にその方の人となりや少しでも聞ければよいと思う（歯科衛生士）
- もしバナゲームについては、自分の周りに病気（がん）の人が居るとつらいゲームだと苦感しました。しんどかったです（介護職）
- 講演会を毎年受けさせていただいて、常にご本人の意向を推定できるよう意識してきました。ご家族、多職種が同じ想いを共有したベースでの話し合いがその都度できるようになれば良いと思います。自分自身の人生を振り返り、自分自身の大切にしているものがよくわかりました。一人一人の人生があり、大切に物がある。それを理解していくことから始める必要を感じた（社会福祉士）
- 三浦先生の講演会は、近くであれば来ようと思いますが、毎回、講演の内容でためになったり新しいお話があるのでありがたいです。ACPはなんとなく、昔の町のお医者さんみたいな感じで、近いのかなと思いました（介護職）
- 自分の仕事のなかでのACPについて考えていくよい時間になりました（看護師）
- あらゆる場面を想定して、事前に話し合っておくことが大切だと思う。元気なうちに人生観、価値観、死生観を共有していくことが必要だと感じた。多職種の中でいろいろな考え、価値観があり、勉強になりました（薬剤師）
- 良いビデオを見させていただきました（薬剤師）
- とても勉強になりました。業務に追われる中で、自分の仕事の意味がみいだせなくなっていたので今回の話を聞き、初心に戻ることができました。自分がこの仕事をやりたいと思ったこと、忘れずにしたいと思いました（社会福祉士）
- 介護の職場では、話をよく聞くことを心がけていますが、自分自身の意思決定がなかなか出来ていない状況です。（人生ノート等はあるのですが・・・）ライフレビュー、ライフヒストリーを書きたいと思いました。（介護職）
- 様々なことが、DX化など、生産性や効率化が求められているが、ACPは、人と人がつなぐたすきリレーというところが、あったかみがあっていいと思う（保健師）
- まずは、自分、両親について考えてみたいと思いました。専門職として、地域住民として大切なことだと思いました（ケアマネ）

- 人との関わり方、接することの大切さを改めて勉強させていただきました（ケアマネ）
- ACLP がとても大切ということを実感しました（薬剤師）
- とても勉強になりました。今後の自分の仕事につなげていくと決めました（介護職）
- 意思決定支援についてあまり関わった事がなかったので、分かり易く学ぶことができました。もしバナゲームを始めて体験でき、自分が今思っている事を知ることができました。また、他の方の考えを知ることができ、とても勉強になりました。本日の研修に参加でき、本当に良かったです。ありがとうございました。（介護職）
- 素晴らしかったです。もう少し、しっかり勉強し、ご利用者の人生を大切にしたいと思いました（介護職）
- とても勉強になりました。その人のライフプラン、生きてきた人生を知ることの大切さを再確認しました（ケアマネ）
- 意思決定支援について、障害福祉サービスでは、代理でも本人の事をよく理解している人間のみとされていく感じが難しく感じています。家族とも自分の人生をどう送っていきたいか話し合っていこうと思います（介護職）
- 貴重なお話、ありがとうございました。日々の支援の中ですぐにでも活かしていきたいと思います。まずは、その人その人の理解を深めていきたいです（ケアマネ）
- 新たな気持ちになれた（医師）
- 2回目ですが、人生についての関わり方を知ることができました（薬剤師）